

## 福岡市山岳協会

### 【加盟年月日】

福岡県山岳連盟・福岡支部  
1962（昭37）年 4月10日

### 【設立年月日】

福岡支部を解消し、福岡市山岳協会を設立  
1991（平 3）年 5月10日

### 【歴代会長】

2011（平23）年 浦 一美  
2020（令 2）年 浦 一美

### 【沿革】



中高年登山者が増え始め、2000（平12）年にそのピークを迎えました。定年退職者や子育てが終わった主婦たちが「九州百名山」や「日本百名山」を目指し、その魅力に魅せられた人々で各地の山々は活気が出てきました。それに伴い山岳事故も増加しましたが、啓発活動等により改善が見られています。

その後、山や自然に対する憧れを持つ若者が出現し、「山ガール・山ボーイ」と呼ばれ、特に富士山や屋久島などで顕著に表れてきました。こうして2010（平22）年に次のピークを迎えます。このブームは4～5年で終わりましたが、彼らはインターネット（ブログ・掲示板・SNS）を駆使し、山々での景色や雄大な大自然の風景は多くの人々へ魅力的に広がります。以前は先輩から後輩へ伝わって行く組織の中での動きが、その組織を必要とする時代ではなくなり、2020（令2）年には、また大きな転換期を迎えて

います。

元気な中高年の「団塊の世代」が、2022（令4）年には後期高齢者となります。この2～3年で山々では中高年登山者が激減し始めました。しかし、そこを埋めるように大自然に興味を持つ「ゆとり世代」の若者たちが増えてきました。

### 【現在の活動】

1998（平10）年に福岡市山岳協会は「初心者登山教室」を開始しました。福岡市民の健康活動として登山を普及させることと、山岳事故を少しでも減らすことが目的です。2020（令2）年で23年目になり、卒業生も700余名となりました。

卒業生で組織される「あいれふハイキングクラブ」も年々活発な活動を続け、日本各地の山々へ出向いています。

会員数も130名を維持し、2018（平30）年には20周年記念事業も終わり、次なる目標へ着実に進んでいます。

山行中の事故を無くすため、また万が一発生しても何時でも対応ができるよう、「救難救助訓練」にも力を入れています。



### ■本協会主催の教室・講習会

- ・「初心者登山教室」
- ・「救難救助訓練講習会」